

美しき昆虫世界

a2200911 北澤尚子

【背景と目的】

私は短大で漆を学んでいるうちに、漆の光沢と昆虫の光沢はよく似ており、共通して独特な雰囲気があるのではないかなと思うようになった。そこで、この共通した2つのモノ（漆と昆虫）を組み合わせることになにか面白みのある作品ができるのではないかと考え研究・制作することにした。漆の技法を用いて作った昆虫のピンバッジを帽子やバッグに付けることによって、漆の美しさや昆虫の魅力をいつでもどこでも楽しめるのではないかなと思う。ピンバッジは安価で手に入り易い物もあれば、価値が高く高価なものもあり、それを集めるコレクターもいる。ピンバッジを利用することで、漆の世界を少しでも広げることができるのではないかと考え研究・制作する。

【デザインについて】

形は割とリアルに仕上げるが、装飾は身に着けたいと思えるようなデザインを考えて制作する

使用する素材・・・漆 石粉粘土 石膏 シリコンゴム 透明樹脂 和紙 麻布 木 ピン

行う技法・・・螺鈿 卵殻 平文 研ぎ出し蒔絵 白檀塗り マーブル

【製作工程】

(カブトムシ、クワガタ)	(蝶々、トンボ)	(螺鈿、卵殻、平文)
1 石粉粘土で原型作り	1 油粘土で原型作り	1 螺鈿、卵殻、平文を鉛漆で貼る
2 シリコンゴムで雌型をとる	2 石膏で雌型をとる	2 スグロメ漆を3回ほど塗り重ねる
3 雌型に樹脂を流し込む	3 離型剤を塗る	3 研ぎ出す
4 シリコンゴムで雌型をとる (12個)	4 雌型の内側に2回錆を塗る	4 固め
5 雌型の内側に2回錆を塗る	5 下地2回	5 胴擦り
6 下地2回	6 布着せ	6 摺り
7 和紙を2枚貼る	7 目摺り	7 つや上げ
8 脚、角等の細かい部分を コクソで埋める	8 木、コクソで裏面を平ら にする	(白檀塗り)
{6-7を5回繰り返す}	9 ピンを付ける	1 塗りを施す面に金箔を貼る
9 布着せ	10 布着せ	2 梨地漆を2回塗る
10 目摺り	11 目摺り	3 胴擦り、呂色作業にてツヤを出す
{9-10を2, 3回繰り返す}	12 下地	
11 木、コクソで裏面を平ら にする	13 錆	
12 ピンを付ける		
13 布着せ	表…1 錆研ぎ 2 塗り 3 研ぎ {2-3を2回繰り返す}	
14 目摺り	4 装飾	
15 下地		
16 錆		
17 塗り		

石粉粘土で原型作り



シリコンゴムで雌型をとる



錆、下地を塗った後、
和紙を貼る



裏面を平らにするため、木で隙間を埋める



塗りをして形を整える



考察・感想

制作する前は細かい部分（脚など）を表現するのは難しいと決めつけて挑戦しようとしなかったが、今振り返ってみると、そうやって自分でできないと思い込んでいたのでは決して良いモノは作れないし、達成感も得られなかったのではないかなと思う。途中でそれに気が付き、挑戦してみようと考え直すことができ、ものづくりに対する姿勢の中でチャレンジ精神がいかに重要であるかを学ぶことができ良かった。

そして制作を始めても細かい部分が上手く表現できるのか、乾漆技法でこのような小さな物が作れるのかなどの不安は消えることはなかったが、いざやってみると想像以上に良いものが作れた。

また、雌型の内側に錆を塗った後に和紙を貼った際、錆と和紙の間に空間ができてしまい、型から取り外した後にその部分が陥没してしまったり、装飾に入る前にきちんと研いでない部分があったりして後に修正するのに時間がかかってしまった。面倒だと思って少しでも手を抜くと後で何倍にもなって返ってくるものだと、つくづく感じた。

卒業研究を通じて、自分が満足のいくものを作ることはとても大変なことだけれど、手間を惜しまずにもものづくりに対する姿勢をくずさずに取り組みれば、徐々に満足のいくモノが作れるし、完成したときに感じる喜びも増すのではないかなと思った。